

埼玉協同病院

ふれあい生協病院

耳鼻咽喉科
堤内 亮博医師

早めの花粉症対策を！

今年もスギ花粉の飛散時期が近づいてきました。
スギ花粉症治療の基本は内服薬と点鼻薬ですが、飛散量が増えて症状が悪化してから薬を使い始めるよりも、飛散開始早期に症状があまりなくても薬を使い始めた方が、シーズン全体を通して症状が軽くなり強い薬を使わずに済みます。
目安としては飛散開始予想日より1週間ぐらい前から薬を使い始めておくのがよいといわれていますので、早めの耳鼻咽喉科受診をお勧めします。
今年初めて症状が出てしまった方も、早めの対処がお勧めですので我慢せずに耳鼻咽喉科に相談してください。
一般的な薬で効果が不十分な方には、舌下免疫療法や鼻粘膜焼灼術（当科ではレーザー治療はできず、電気凝固装置での治療になります）などの選択肢もありますので、適宜ご相談ください。

埼玉協同病院

ふれあい生協病院

2024年度 第2回
ボランティア学校を
開催します！

参加費
無料

【日時】 2025年1月30日(木)
13:30～15:30 (受付 13:00～)

【場所】
埼玉協同病院北棟
大会議室

【内容】
医療生協ボランティア活動・高齢者のこころ
と身体の話義・車イス介助体験 など

申込み・お問合せ
TEL.0570-00-4771 (代表)
戸田 (外来医事課)、志村・須田 (管理部)

参加費
無料

埼玉協同病院

ふれあい生協病院

月刊

ふれあい

fureai

2025
1月号

冬
特別号

No.447

発行：医療生協さいたま
TEL.0570-00-4771

埼玉協同病院
https://kyoudou-hp.com
〒333-0831 川口市木曽呂1317

ふれあい生協病院
https://fureai-hp.com/
〒333-0831 川口市木曽呂1302-1

連絡バス時刻表

無料送迎
日曜、祝日、第2土曜日は
運休です

東浦和方面

診療所便 土曜日運休

ふれあい生協病院行き
東浦和駅発

ふれあい生協病院発
東浦和駅行

東浦和駅のりば

東浦和駅改札をでて右のロータリーにてお迎えします

途中下車を希望する方は、乗車時に運転手にお申し出ください

●浦和民主診療所便の注意 ①月・水・金は太田窪コース、火・木は井沼方コースとなります。
②生協歯科診療所経由 浦診 12時35分発 生協歯科 13時5分
浦診 15時45分発 生協歯科 16時15分

東川口駅循環バス(戸塚安行駅経由)

東川口駅のりば

東川口駅北口をでてロータリーにてお迎えします

東川口駅

北口

東川口駅

北口

根岸・道合・神戸コース 土曜日運休

新郷・鳩ヶ谷コース 土曜日運休

根岸・道合・神戸コース

新郷・鳩ヶ谷コース

根岸・道合・神戸コース

新郷・鳩ヶ谷コース

新年のごあいさつ

社会進歩、
実感する一年に
埼玉協同病院 院長 増田 剛

二つの病院で
地域を支える
ふれあい生協病院 院長 忍 哲也

新年です。ウクライナやガザは？ そして日本の円安・物価高、辺野古、社会保障は？
国際情勢が私たちの日常と繋がっている時代、グローバルな視野で自身の仕事や生活に臨んでいくことが大切です。確実に言えることは平和と人権・個人の尊厳を希求する運動の進歩は誰にも止められないということです。気候危機や市民の虐殺を糾弾するために世界中の若者が立ち上がっていることも、いのち掛けで核の非人道性を訴えてきた日本被団協がノーベル平和賞を受賞したこともその確かな証左です。
社会進歩を実感できる、そんな一年にしましょう。

おかげさまで開院して二度目のお正月を迎えました。部門ごとに工夫を重ねて形を整えてきましたが、課題はまだ多いです。
病棟では身体的拘束を減らすことを目標に掲げ、より人権を尊重する医療を進めます。外来では各診療科で予約制の拡充を検討していきます。ふれあい生協病院がかりやすさを向上させ、埼玉協同病院が急性期病院としての力を伸ばし、両者で地域の様々なニーズに応えていくことが私達の目指している方向です。
地域・組合員の財産であるこの二つの病院を存分に生かせるよう、職員一同努めて参ります。本年も宜しくお願ひ致します。

埼玉協同病院

ふれあい生協病院

血液浄化センターリニューアル

透析室は、「血液浄化センター」と名称を変えF館1階へ移転しました。血液浄化とは体液の是正と病因物質の除去を目的とする治療法でその一つが血液透析です。アフエーシス療法（吸着・濾過）、シャント拡張術（PTA）、ブラッドアクセス・フット管理、運動療法など包括的な医療ケアを今後もチーム一丸で提供して参ります。

血液浄化センターリニューアル

透析室は、「血液浄化センター」と名称を変えF館1階へ移転しました。血液浄化とは体液の是正と病因物質の除去を目的とする治療法でその一つが血液透析です。アフエーシス療法（吸着・濾過）、シャント拡張術（PTA）、ブラッドアクセス・フット管理、運動療法など包括的な医療ケアを今後もチーム一丸で提供して参ります。

特集

地域に出る病院



埼玉協同病院とふれあい生協病院では、昨年から、病院職員が積極的に地域に出るという取り組みをしています。その目的や背景を小暮事務長と大野理事にうかがいました。



地域を知り、医療の質を高める

一職員が地域に出るとはどういうことですか？

小暮 病院の部門ごとに担当する支部を決め、月に1回は担当した地域に出ていくようにしています。支部の運営委員会をはじめ、健康まつりや健康ひろばへの参加。すこしお活動、ウォーキング、セラバンドといった健康づくりの取り組み。また、訪問行動も参加をしています。地域の組合員と一緒に

取り組み、学び、組合員も地域も元気にしたい。そこに貢献したいと思っています。

一病院ではどう位置づけていますか？

小暮 地域に出ていくことは医療活動のひとつだと位置づけています。私たちは医療生協の病院ですから「患者さんの病気を治してお終い」ではありません。地域まるごと健康づくりという理念をもっています。地域の人たちの暮らしを支え、組合員と一緒に地域をつくっていく。この精神のもとで、

元々、地域活動への参加というものを重視していました。患者さんは、地域に戻れば地域の暮らしの主体者です。患者さんが暮らしている地域、そこでの暮らしにどのような課題があるのか、私たちが知ることによって医療でも異なるアプローチができる可能性もあります。医療の質の向上にもつながります。

組合員も職員を支えたい

一組合員の受け止めはいかがですか？

大野 職員に来てもらえると、支部活

動に張り合いが出てきますね。組合員は、自分たちの病院の職員を応援したい、支えたい！という気持ちがとても強いから、とくに新人職員が来ると、もうみんなで、頑張ってるね！辞めないでね！という熱い眼差しが(笑)。一支部の方から職員に参加の依頼をかけることもあるのですか？

大野 栄養士や看護師に来てほしいときは、まちづくりコーディネーターを通して病院に依頼します。専門職から話がきけるのは組合員にとってのメリットのひとつでもあると思います。

つながる大切さ

一コロナ禍では取り組みが途絶えたと言いました

小暮 当時は、まる一日誰とも口を利かないという患者さんが増えました。久しぶりに来院されたらフレイル状態になっているという方が本当に多かったです。改めて、人とつながっていないと健康はつukれないんだなと感じました。職員も地域に行けなくなってしまったので、地域の課題や組合員の要望を掘みにくくなってしまった。私たちの医療活動を振り返った時に、生協としてなんとかしなくてはと思いまし

たね。

そして1年半前に、ふれあい生協病院ができました。埼玉協同病院とふれあい生協病院で、急性期から在宅医療、地域の健康づくりまで全部カバーをして、地域包括ケア時代に輝く病院群になりたいと思っています。そのために、コロナで途絶えてしまっていた地域活動を再開することが必要でした。

研修医の頃から地域に

一職員側の感想はいかがでしょうか

小暮 病院の外でも自身の専門分野が活かされると知って嬉しい、という声があります。ときには組合員の方から「子どもが早く走れる方法を教えて！」と専門外の要望をされることもあるのですが、自分の専門外であっても、もう必死になって調べるわけです。新たな学びがあり、視野も広がる。役に立てた、楽しかったという経験もできますね。

大野 他の病院ではなかなかやってないことだと思うので、日常の仕事の幅が広がりますよね。

小暮 今年から、初期研修医も地域に出るようになりました。病気の予防の視点、暮らしの視点を学んで、専門外のところでもよりそって応えていく。ど

ういう医者を目指したいか、地域に出ることで考える機会になってほしいと思っています。

地域包括ケアの拠点に

一最後に2025年の展望を教えてください

大野 支部では地域の問題のことで市に要望もしています。そうした場に、職員が一緒に来てくれると、より地域の実情がわかると思います。また、この間、虹の投書箱をみていると、接遇についての意見が多くなっていますね。地域とつながって、組合員と職員が、いい関係が築けるよう期待しています。

小暮 そうですね。職員としては、地域の健康づくりや孤立している方への介入ができるよう、より専門職としての力をつけたいです。地域に出ることで、事業所、病院、介護事業所、社会福祉協議会、市役所、自治会長や民生委員ともつながる。医療生協だけ、病院だけでは絶対にまちづくりはできませんから、地域を支えるさまざまな人たちと、ともにつながって、地域包括ケアの拠点病院としての役割を強化していきたいです。

地域に出る実例

- 支部の企画に参加しましょう
- 3人以上の組合員で班をつくり、職員に講師依頼できます

かけっこ教室



差間支部でリハビリ科職員が小学生向けに「子どもかけっこ教室」を開催しました。

ウエルカフェ



3か月ごとに、ウエルシア薬局北原台店で保健師によるミニ講義・健康相談のウエルカフェを開催しています。



医療生協さいたま
常務理事
大野 久美子



ふれあい生協病院
事務長
小暮 里美



外来診療体制表

1月

診療受付時間

午前 8時30分～11時

【急患の方】ふれあい生協病院に
おいでください

土曜日：6時からインターネット
受付、8時30分から窓口受付
※予約人数に制限があります。

【小児科】

土曜日：6時30分からインターネット
受付、8時30分から電話受付
※予約人数に制限があります。当日来
院されての受付は行えません。

【皮膚科】

2024年10月から **完全予約制**
前日からインターネット受付、
8時30分から窓口当日予約受付
※予約人数に制限があります。

【眼科】

2024年8月から **完全予約制**

【耳鼻咽喉科】

2024年1月から **完全予約制**

【整形外科】完全予約制

【産婦人科】土曜日10時まで

【脳神経外科】月～金曜日

【乳腺外科】水・木曜日

午後 予約以外は休診

休診日 第2土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12/30～1/3)

予約に関するお問い合わせ

TEL:0570-047-489

ナビダイヤルの番号は下記のとおりです。

1番 紹介状をお持ちの方

(総合サポートセンター)

紹介状を手元にご用意の上、お問い
合わせください。

月～金：午前8時30分～午後3時まで
土曜日：午前8時30分～正午まで

2番 健康診断に関する予約・ご相談

月～金：午前8時30分～午後4時まで
土曜日：午前8時30分～正午まで

3番 埼玉協同病院 予約

4番 ふれあい生協病院 予約

5番 その他

月～金：午前8時30分～午後3時まで
土曜日：午前8時30分～正午まで

※診療体制と医師が変更
になる場合があります

※は女性医師

ふれあい生協病院

印は予約が必要です

		急患内科	循環器内科	糖尿病内科	消化器 内科	呼吸器 内科	脳神経 内科	予約内科・ リウマチ・膠原病	腎	甲状腺	外科	小児科		泌尿 器科	皮膚科	耳鼻 咽喉科	眼科	食生活 相談
												乳児健診 予防接種等	専門外来					
月	午前	担当医		高橋(き) 村上 肥田 坂下 加計		原澤 章		松村(憲)	肥田		市川(辰) 佐野(貴)	平澤 藤田		平松	伊藤(理) 上田 飯島*第1・2・3・5	堤内 久壽米 担当医	太根 唐川	管理栄養士
	午後			高橋(き) 村上 [はじめ外来] 加計	馬場			松村(憲)					斉藤[神経・発達] 和泉[アレルギー] 平澤[内分泌・生 活習慣] 岩本[循環器]*第4	平松	伊藤(理) 飯島*第1・2・ 3・5		太根 唐川	管理栄養士
火	午前	担当医	山田(昌) 鷺尾 岡村	高橋(き) 坂下[初診] *第2・4・5 村上 島村 桑川	忍	松村(綾)					井合 浅沼	荒熊 藤田		林 長谷川	伊藤(理) 飯島	堤内 久壽米 担当医	太根	管理栄養士
	午後		鷺尾	高橋(き) 桑川	忍			福庭				[乳児健診] [予防接種]		長谷川			太根	管理栄養士
水	午前	担当医		島村 関根 村上 肥田 加計[初診]		片山	新井	山田(晃) 松村(憲)	肥田 清水(辰)[腎]	山内	重吉 市川(辰)	金子(芳) 藤田		池端 深谷	伊藤(理) 飯島 田中(純) *第1・3	担当医 担当医	太根 吉津	管理栄養士
	午後		陣内 金子(史)	村上 関根	開原			山田(晃)		三宅		[予防接種] [BCG接種]		池端	飯島		太根 吉津	管理栄養士
木	午前	担当医	村田	高橋(き) 坂下 富山[初診]	辻 大石 忍	黒澤	松倉				小野	藤田 荒熊		原 蕨塚	関 飯島 高濱*第1・3・5 向久保*第4	堤内 久壽米 担当医	山野邊	管理栄養士
	午後		金子(史)	高橋(き) 島村	舟田	市川(篤) [じん肺・ア スベスト・禁煙 外来]		高石*第1・3					和泉 [アレルギー] 荒熊[神経・発達]	原 蕨塚	関		山野邊	管理栄養士
金	午前	担当医		高橋(き)	辻	草野 田島					長 栗原 花岡	平澤 金子(芳) 藤田		田畑	伊藤(理) 飯島 関	堤内 久壽米 担当医	太根	管理栄養士
	午後				辻 大石*第1・3・5							[1歳半健診]*第1・3 [予防接種]*第1・3	平澤[アレルギー] 荒熊[神経・発達]*第2・4 平井[神経・発達]*第2	田畑	伊藤(理) 飯島		太根	管理栄養士
土	午前	担当医	稲葉*第1・4 村田*第4 三友*第1・3								担当医	担当医(電話 ・インター ネットのみ)	中村*第3[腎]	三戸 担当医	伊藤(理) 飯島	担当医 担当医	担当医	管理栄養士

埼玉協同病院

印は予約が必要です

		専門外来	脳神経 外科	乳腺外来	整形外科	緩和ケア 内科	被ばく 相談外来	精 神 科	麻 酔 科	産 婦 人 科					
月	午前		石丸		☎仁平 [膝・股関節] ☎👤桑沢 [再生医療] [膝・股関節] ☎👤西 ☎伊藤(淳)			☎雪田	☎[ペインクリニック]	月	午前	担当医	👤市川	伊藤(浄)	👤芳賀
	午後	☎遠藤(聖) [血液]			☎👤桑沢 [再生医療] ☎仁平 [人工関節]				☎麻酔科外来		午後				
火	午前	☎増田 [消化器]	石丸		☎遠藤 [手の外科] ☎櫻井 ☎船尾 [脊椎]			☎荻野		火	午前	👤榎本	伊藤(浄)	👤竹内(育)	担当医
	午後					☎佐野(広)	第1のみ				午後	☎[妊健]	☎👤市川		
水	午前		石丸	👤金子(し)	☎小林 ☎松崎 ☎伊藤(淳)			☎雪田 *第1・2・3・5		水	午前	👤榎本	👤市川	👤芳賀	担当医
	午後	☎清水(禮) [息いき外来]			☎小林						午後	☎[産褥]			
木	午前		石丸*第1・3・4 須田*第2・5	👤金子(し)	☎小林 ☎小粥 [脊椎] ☎櫻井			☎雪田 ☎荻野	[ペインクリニック] 10:00 ~	木	午前	👤榎本	担当医*第1・3 担当医*第2・4	👤竹内(育)	伊藤(浄)
	午後	☎野口 [内科]		☎👤金子(し)	☎岡崎 ☎遠藤 [手の外科] ☎仁平 [膝・股関節]				☎[ペインクリニック]		午後	☎👤竹内(育)	☎👤榎本*第1	☎伊藤(浄)*第3	
金	午前	☎金子(史) [循環器]	井出		☎遠藤 ☎後藤 ☎筋野			☎荻野		金	午前	高木	👤芳賀	岡野	担当医
	午後	☎三浦 [血液]			☎仁平 [膝・股関節]	☎佐野(広)		☎雪田	☎麻酔科外来		午後	☎神谷	☎[妊健]		
土	午前	☎金子(史)*第4 [ペースメーカー] [循環器]			☎森岡*第1・3 [腫瘍] ☎小林				☎麻酔科外来*第1・3・4	土	午前	☎担当医 [妊健]	担当医	担当医	

専門医 シリーズ

37

荒熊
智宏

小児科部長
医局長

地域に医療が維持される 必要性

荒熊医師は、怪我や風邪などで医療機関にたびたびお世話になる、ちょっと注意力散漫でおちつきのない少年でした。また斜視があり、幼稚園のときには入院して眼科手術も経験しました。

生まれ育った町には当時、町立診療所があり年配の女医さんが1人で診療に当たっていました。そこで医療事務の仕事をしていたのが荒熊医師の母親でした。「時に自治医科大学から応援の医師が来て、なんとか回している診

療所。過疎ではないけれど、小さな地域で必要な医療を維持する大変さを、自分も患者になる機会が多かった分だけ感じ取っていました。だから将来、医療に関わる仕事がしたいと小学生の頃には思っていました」

子どもたちに関わる 仕事をしたい！

医学生になってからは、糖尿病の子どもたちとのキャンプに参加したり、小児病院で「おもちゃ図書館」を開いて子どもたちと遊んだりなどのボランティア活動に積極的に関わっていきましました。その中で、「子どもたちに関わる仕事」に強く惹かれていきます。「学校の教師や保育士という選択肢もあると本気で迷った時期もありました。しかし悩んだ末、医学の勉強を始められたのだから、小児科医として子どもたちと関わろうと心を決めました」

高校3年生のときに「医師体験」で訪れた縁から、医学部を卒業後、埼玉医協同病院で働き始めます。内科や外科などの研修を積んだうえで、4年目から小児科医の道を歩き出しました。

PROFILE

認定資格

●日本小児科学会専門医 ●日本小児神経学会専門医

経歴

2001年 群馬大学医学部 卒業
2001年 埼玉協同病院 勤務
2005年 埼玉医科大学総合医療センター小児科 研修
2006年 埼玉協同病院 勤務
2011年 東京都立小児医療センター神経内科 研修
2013年 埼玉協同病院 勤務

子どもの健康を見守る 地域の拠点

成長の瞬間に出会う —小児科医の喜び

小児科医の魅力は「子どもたちの健康を守りながら成長する姿を見られること」と荒熊医師は言います。小児科では子どもが小さいうちは、治療に関して保護者とのやりとりが主になります。それが小学校高学年、中学生になってくると治療の主体を子ども本人に変えていきます。「そのタイミングが難しいのですが。こういう病気だから、こういう薬や治療が必要なんだと、本人と向き合い、話し合えるようになっていきます。そのプロセスで、子どもの身体と心の成長・発達を感じます。小さな頃から見守ってきた子どもが、成長して羽ばたいていく瞬間に出会う。それが小児科医の何よりの喜びです」

子どもの成長を ゆっくりと待てる社会に

不登校や発達障害のある子どもが増えていると言われています。荒熊医師は子どもの特性や疾患の変化の他、それをどう受け入れるか社会の側の要因



も大きいと指摘します。「今、多様性を謳う社会ですが一方で、親も学校も子どもたちに対してじっくり待てずに、すぐに白黒をつけたがる傾向があります。できないこと、発達の遅れに、社会の側が過敏に反応しすぎていると感じます」

たとえば自閉症の子どもたちは、「自閉症スペクトラム」と言われるように、その症状には大きな幅があります。「だから検査で〇点以上は障害です、診断がつきますという単純な話ではありません。重要なのは診断そのものではなく、その子どもが社会生活を送るうえで障害のせいと伸び悩んでしまうかど

うかを見極めて、必要なアプローチをしていくことです」

荒熊医師は、ここで診療を継続することを自分の役割として大切に考えています。「子どもに関わるということは、短期間で終わらせられるものではありません。一進一退しながら成長していく姿を、同じ場所にいて途切れずに見守り続ける、それを大事にこれからもやっていきます」お休みの日は何を？「浦和のサッカーチームのファンで、近所の友達とよく試合を観に行きます。あとは基本、家でゴロゴロするのが好きですね」楽しそうにサッカーの話をされます。子どもたちにきっと大人気の、優しい笑顔でした。

地域への メッセージ

小児科は病気も診るし困りごとの相談にももの、そういう多面的な機能を持った存在として活用してほしい。子育てはたいへんだけど、子どもたちは時間と共にその子のペースで確実に成長していきます。だからぜひ、肩の力を抜いて、ゆったりした気分で子育てを楽しんでみてください。

これまでの
専門医シリーズは
こちらでチェック



ふれあい 健康まつり



開催しました

11月23日にふれあい健康まつりを開催しました。当日は天候にも恵まれ、穏やかな青空の下で約2000人もの方々が集まり、お祭りは大盛況のうちに幕を閉じました。

組合員の皆さん、地域の皆さん、そして職員も一緒にお祭りを楽しみました。歌やダンスやヒーローショーなど、大人からこどもまで楽しめるステージや、こどもクリニック体験コーナー・こども縁日・ゆるキャラ大集合！などの企画も行われました。また、組合員や職員による模擬店・フリマやキッチンカーもずらりと並び、笑顔あふれる一日となりました。

ご来場いただいた皆さん、本当にありがとうございました。これからも、埼玉協同病院、ふれあい生協病院をどうぞよろしくお願いいたします。



虹の投書箱だより

大腸内視鏡の手術、前回の手術と同じ先生で安心しました。不安と恐怖、焦燥の中、言葉がけが優しく安心感のうちに終了しました。言葉かけの力を実感しました。看護師の方が背中をさすってくれたり他のスタッフの皆さんありがとうございました。

この度は感謝のお言葉と、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

入院、検査はどんな検査であっても不安が大きくあるものです。スタッフの声かけ、接し方で患者さまが安心して検査を終えられたことを大変嬉しく思います。

今後も患者様に寄り添った病院運営を目指していきますので、どうぞよろしくお願い致します。
(東3病棟看護長 大西 美希)